

2025年8月5日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 燃料プール冷却浄化系ポンプ（A）の自動停止について

東海第二発電所※において、2025年8月5日11時14分、運転中の燃料プール冷却浄化系ポンプ（以下、「FPCポンプ」）（A）が、電氣的故障を示す警報とともに自動停止しました。

（使用済燃料プール温度：約28.5℃（11時15分時点））

その後、12時21分に待機中のFPCポンプ（B）を起動しております。
使用済燃料プール温度の上昇はみられず、約28.5℃のまま安定しています。

本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

今後、当該ポンプが停止した原因を調査してまいります。

※：沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット。第25回定期事業者検査中。

以 上

参考資料：燃料プール冷却浄化系 系統概略図

このページでは、機器の軽度な故障等で、法令の定めでは国への報告の必要がなく、トラブルとされていない情報（保全品質情報※）等を掲載しています。

※保全品質情報：国へ報告する必要のない軽微な事象であるが、設備の信頼性を向上させる観点から電力各社はもとより、産官学で情報共有化することが有益な情報です。

燃料プール冷却浄化系 系統概略図

